

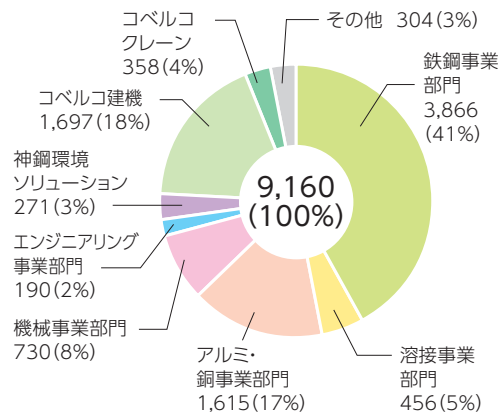
■当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動影響がみられたものの、政府の各種経済対策などを背景に、企業収益の改善や設備投資の増加、公共投資が引き続き高水準で推移するなど、景気は総じて回復基調が継続しました。海外では、米国においては緩やかながら景気回復基調が継続しましたが、欧州においては引き続き景気は低調に推移し、中国および東南アジアにおいても、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、自動車向けの需要が減少したことや、当社加古川製鉄所における生産トラブルの影響などから、前年同期を下回りました。アルミ圧延品の販売数量は、国内の飲料用缶材の需要が増加したほか、輸出の拡販に取り組んだことなどから、前年同期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条においては自動車用端子や半導体、銅管においてはエアコン向けの需要が堅調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。油圧ショベルの販売台数は、拡販が順調に進捗している欧米などにおいては増加したものの、国内および東南アジアにおいては減少したことから、前年同期を下回りました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期に比べ266億円増収の9,160億円となり、営業利益は、前年同期に比べ27億円増益の571億円、経常利益は、前年同期に比べ30億円増益の461億円となりました。一方、四半期純利益は、前年同期に投資有価証券の売却益などを計上していたこともあり、前年同期に比べ20億円減益の421億円となりました。

事業別売上高(平成26年度上半期) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額331億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額9,160億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

3,866 億円

(前年同期比 △0.9%)



- 鋼材販売数量：消費増税に伴う駆け込み需要の反動による自動車向け需要の減少などから、前年同期比減
- 鋼材販売価格：前年同期比上昇
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要回復基調で前年同期比増
- チタン製品売上高：前年同期比若干減
- 経常利益：在庫評価影響の収益押し上げ効果剥落により前年同期比51億円減益の104億円



加古川製鉄所 転炉工場



溶接事業部門

456 億円

(前年同期比 +8.8%)



- 溶接材料販売数量：国内の造船向け需要回復基調、建築向け需要も堅調に推移し、前年同期比増
- 溶接システム売上高：国内建築向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 経常利益：前年同期比18億円増益の46億円



ソリッドワイヤ



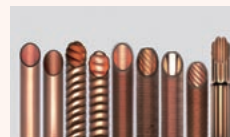
アルミ・銅事業部門

1,615 億円

(前年同期比 +9.0%)



- アルミ圧延品販売数量：国内飲料用缶材の需要増、飲料用缶材、自動車向け輸出拡販効果により、前年同期比増
- アルミ鑄造品売上高：海外の自動車向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車、半導体およびエアコン向けの各需要が堅調で、前年同期比増
- 経常利益：エネルギーコスト増、在庫評価影響悪化で前年同期比19億円減益の60億円



熱交換器用異形伝熱管



機械事業部門

730 億円
(前年同期比 +2.3%)



- 受注高：海外を中心に石油精製・石油化学業界向け圧縮機の需要堅調により、前年同期並の737億円
- 当期末受注残高：1,421億円
- 経常利益：タイヤ・ゴム機械大型案件売上計上集中で前年同期比11億円増益の32億円



オープンラック式LNG気化器「ORV」



エンジニアリング事業部門

190 億円
(前年同期比 △8.6%)



- 受注高：震災復興に関連した廃棄物処理業務および維持管理業務を中心に受注を積み上げたものの、大型還元鉄プラントを受注した前年同期比では27.6%減の145億円
- 当期末受注残高：807億円
- 経常損失：前年同期比3億円悪化の5億円の損失



フレア護岸



神鋼環境ソリューション

271 億円
(前年同期比 △12.1%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業での受注量が増加し、前年同期比22.8%増の452億円
- 当期末受注残高：653億円
- 経常利益：前年同期比6億円減益の3億円



芳賀地区エコステーション

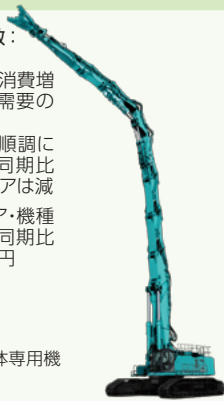


コベルコ建機

1,697 億円
(前年同期比 +4.1%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期比減
〔国内〕排ガス規制、消費増税に伴う駆け込み需要の反動影響により減
〔海外〕欧米の拡販順調に進展、中国も前年同期比では増も、東南アジアは減
- 経常利益：販売エリア・機種構成変化もあり前年同期比59億円増益の161億円



200トン級超大型建物解体専用機「SK2200D」



コベルコクレーン

358 億円
(前年同期比 +40.8%)



- 販売台数：前年同期比増
〔国内〕公共投資増など需要高水準に推移し増
〔海外〕アジア向け需要堅調により増
- 経常利益：前年同期比14億円増益の31億円



ラチスブームホイールクレーン「MK650」

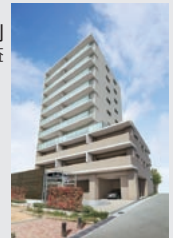


その他

304 億円
(前年同期比 △5.2%)



- 神鋼不動産：〔分譲事業〕引渡戸数減少〔賃貸事業〕堅調に推移
- コベルコ科研：〔試験研究事業〕自動車関連中心に堅調に需要推移
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比5億円減益の19億円



ジークレフ御影パークグレイス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。